

		平成27年度 実績	平成28年度 計画(案)
①町の放射線健康管理体制のあり方について	WBC	<p>〇いわき泌尿器科、ひらた中央病院、檜葉メディカルセンター、福島県の車両バスで実施した。                      受診者数 195人(全人口に対し3%)⇒(男105人 3% 女 90人 2%)                      20歳未満 9% 20歳代～30歳代 23.1% 40歳代～60歳代 55.9%</p> <p>・いわき泌尿器科 毎週月～金 13:00～13:45 生後7か月～ 受検数 人                      ・ひらた中央クリニック 毎週月～木 9:00～16:00 生後7か月～ 受検数 14人                      ・檜葉メディカルセンター 毎週木～土 10:00～16:00 生後4歳児～ 受検数 24人(職員148人)                      ・福島県車両バス 11月24日・25日(会津方面) 生後4歳児～ 受検数 人                      〇受検結果:検出限界値を超えた者 1人 (男性)</p>	<p>〇いわき泌尿器科、ひらた中央病院、檜葉メディカルセンター、福島県の車両バスで実施                      ・いわき泌尿器科 毎週月～金 13:00～13:45 生後7か月～                      ・ひらた中央クリニック 毎週月～木 9:00～16:00 生後7か月～                      ・檜葉メディカルセンター 毎週金・土 10:00～15:00 生後4歳児～                      ・福島県車両バス 11月(会津方面) 生後4歳児～                      *檜葉メディカルセンターでの実施は、県立大野病院付属仮設診療所敷地内に常設する車両バスの運用を開始した場合(28年度中)は中止していく。                      〇検査後の相談体制の充実を図る。(検出限界値を超えた人の対応)</p>
	甲状腺検査	<p>〇県民健康踏査受検者数 961人(H26年、H27年合計)受診率73.1%                      二次検査対象者数 5名うち 4名受診 悪性ないし悪性の疑い0人                      〇ひらた中央クリニックと協定締結 受検数 9人(未就学児8人 小学生1人)                      判定:A1⇒6人 A2⇒3人 二次検査対象者 0人</p>	<p>〇ひらた中央クリニックに依頼し、福島県が実施(18歳未満は2年に1回、18歳以上は5年に1回)する検査の未受診者など検査を希望する方を対象に実施する。</p>
	個人線量計	<p>〇平成28年2月～3月の約3週間、パートナーウォーキング参加者に、D-シャトル測定をしてもらい、「D-シャトルで何がわかるのか」また、測定結果について座談会を開催する(3月30日予定)</p>	<p>〇街なかウォーキングと放射線線量を合わせて情報発信をしていく。</p>
	その他	<p>・健康手帳「ならば帳」を作成し、平成28年3月末に配布する。                      ・水の水道検査 70件 1月末現在                      ・食品検査の状況は、</p>	<p>〇健診時や各種事業時に活用していく。</p>
②町民の放射線不安の把握と対応	放射線不安の把握	<p>〇準備宿泊者を対象に、保健師、看護師が戸別訪問                      ・平成27年4月20日～7月17日 154件訪問し、61件面会できた                      〇生活支援相談員・仮設住宅連絡員等を通じた不安の聞き取り及び相談(戸別訪問)                      ・平成27年5月～7月                      ・いわき市内仮設住宅 1,085世帯中505世帯(46.5%)実施                      その他の世帯 217世帯実施</p> <p>* 除染や放射線に関する相談35件は、環境省、気がかり調査や放射線対策課で個別訪問にて対応</p> <p>〇 総合検診にてアンケートをもとに健康相談、よろず相談                      ・平成27年9月28日～10月5日・16日(9日間) 1103名(男性431名 女性672名)</p>	<p>〇生活支援相談員を増員し、相談体制を強化し、生活再建や放射線への不安への聞き取りをしながら、課題やニーズを明確にし、各関係機関が適切な対応を図っていく。                      〇帰町している住民を対象に保健師が戸別訪問し、ニーズの把握や健康課題を明確にし対応していく。                      〇総合検診等におけるアンケートの実施及びよろず相談の実施                      〇ママためサークルや離乳食教室、乳幼児相談会の際に相談の実施</p>
	アプローチ方法の検討	<p>〇座談会の開催                      ・平成28年2月10日 個別相談会(高久第9仮設集会所)、参加者6名                      檜葉町帰町時に協力いただいたデータを分析し、D-シャトルの使い方等の説明会を開催した。                      ・会津美里仮設住宅居住者を対象に、座談会(健康わいわいトーク)4回開催                      平成27年8月25日 不安や疑問悩みを語り合う 参加者 11名                      9月15日 第1回目にあげられた疑問や不安についての回答、意見交換 参加者 5名                      10月27日 檜葉町の線量マップ作り                      住民の疑問に思っていることについて説明 参加者 10名                      平成28年 2月 4日 暮らしの中での放射線との付き合い方 参加者 9名</p> <p>&lt;町民の水道水に対する不安解消策&gt;                      1. 正確な情報発信                      〇パンフレットの作成・配布                      〇広報での説明                      〇住民懇談会での説明                      2. より理解を深めるための取組施設見学の機会                      〇家庭の水道水検査 71件(1月末現在) 【水道企業団】                      〇水道水の放射性物質測定(24時間測定) 【水道企業団】                      〇バスツアーの開催:4回開催(現在3回終了) 【町と水道企業団】                      参加者:幼稚園との親子 16人 高齢者37人 小学生親子 37人                      〇木戸ダム見学及び水道水についての学習会 【原子力安全協会】                      10月23日、11月22日に2回実施                      生活支援相談員、仮設連絡員、町保健師が20名参加</p>	<p>&lt;座談会(健康ワイワイトーク)の開催&gt;                      〇檜葉町に帰町している人を対象に座談会を開催(3回程度)                      〇乳幼児の親を対象に座談会を開催(3回程度)</p> <p>&lt;研修会の開催&gt;                      〇生活支援相談員の研修会の開催(4月)                      〇保健師及び保育、教育関係者、町の放射線関係職員に対する研修会の開催(5月)</p> <p>&lt;広報活動&gt;                      〇ならば広報を活用し、放射線に関する取組等について紹介していく</p>
	情報発信方法の検討	<p>&lt;広報誌での情報発信&gt;                      町民懇談会での放射線に関する質問は、原子力災害現地対策本部と檜葉町で、Q&amp;Aにして配布                      &lt;その他&gt;                      ・「ならば帳」に、放射線に対する健康管理の記録、放射線健康影響に対する取組、個人線量計測定に関する記録、放射線に関する基礎知識について明記</p>	<p>&lt;広報誌での情報発信&gt;                      &lt;マスメディアへの対応&gt;</p>